

ま 真室川町

議会だより

2024年1月25日

No. **165**



輝き続けて 41回
— 婦人芸能祭の華やかな舞 —

年頭のあいさつ	2
物価高騰対策給付金	3
一般質問（5人登壇）	5
議会報告会	10
新たな文化拠点整備に向けて	12
請願・陳情・議会のうごき	13
町民の声	14

真室川町LINE公式アカウント
@mamurogawa_town



暮らしの話題 防災 新型コロナ情報をLINEでお届け！
QRコードをスマホで読み取って友だち追加してください

謹賀新年



明けましておめでとうございます。年頭にあたり、町議会を代表しあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、平素より町議会に對しまして、温かいご支援とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、ようやく経済情勢も回復に向かおうとしている最中に、ロシア・ウクライナ問題等の緊迫した政治情勢による物価高騰、猛暑日の増加や気候状況の変化に伴う鳥獣出没・農作物被害が多発し、町民生活にも大きな影響がありました。また、年明け早々に大規模な能登半島地震が発生しました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地域の日も早い復興をお祈りいたします。町とともに議会としても、こうした経済状況や突発的な災害に迅速に対応してまいります。

町の少子化・人口減少も進む中ではありますが、将来にわたって活力あるまちづくりに取り組むため、町議会では喫緊の町政課題に着目し、提言書として取りまとめ、町へ提出したところです。本年も、議員一同町政の発展に全力で邁進(まいしん)してまいりますので、皆様のさらなるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方の益々のご多幸とご繁栄を心よりご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

真室川町議会議長 佐藤 一 廣

本年もよろしくお願いいたします



小松健弥 議員 姉崎園子 議員 平野勝澄 議員 小松正弘 議員 舟生源氏 議員
佐藤 正 議員 高橋秀則 議員 佐藤一廣 議長 菅原道雄 副議長 五十嵐久芳 議員

物価高騰対策給付金

～非課税世帯に7万円～

12月定例会

犯罪被害者等支援条例

12月定例会は、6日から8日までの3日間の会期で開かれ、人事案件や条例改正、契約案件、各種会計補正予算など、町長提出案件12議案を慎重に審議し、それぞれ原案のとおり可決されました。

佐藤正議員 第9条にある「その他の必要な支援」の具体的な内容は。

町民課長 犯罪被害者等にかかる見舞金を支給する制度である。

特別職の職員の給与に関する条例改正

平野勝澄議員 この改正によって、近隣と比較して突出するようなことはないか。

総務課長 他団体と同様に人事院勧告等に基づいて改正しているもので突出することはない。

水道事業の設置等に関する条例改正

高橋秀則議員 給水人

口6460人の算出根拠は。

建設課長 令和4年度末の人口に、水道普及率95・1%を乗じて給水計画人口を算出している。

真中給排水管及び浄化槽更新工事請負変更契約

高橋秀則議員 工期に影響はないのか。

教育課長 浄化槽掘削等の変更による増額だが、工期は1月9日迄の予定に対し、年内に完了する見込みである。

補正予算

◆一般会計

地方創生臨時交付金

小松健弥議員 交付金

の用途は。

福祉課長 非課税世帯への物価高騰対策給付金として1世帯当たり7万円を給付する財源となる。

移住定住支援事業

姉崎園子議員 移住定住支援事業委託料の用途は。

企画課長 今年度、初めて地域おこし協力隊

インタビュー事業に取り組み、ベルギー出身のご夫婦が3か月間当町に地域おこし協力隊として活動した。山形新聞、YBCテレビで報道され、SNSで多くの反響を呼んでいる。また、広報まむろがわに、あさひ小学校での国際交流の様子などを紹介している。今後とも真室川町と深く関わって行きたいと抱負を述べている。



新装開店したうどん店

サポートを含め、移住定住の運営については、一般社団法人雪と暮らし舎に委託している。紹介した事業を含め、今後予定している事業の不足部分の追加補正である。

空き家空き店舗活用支援事業費補助金

小松健弥議員 追加補正分の用途は。

企画課長 真室川郵便局付近で6年間空き店舗になっていた物件を活用し、改修や備品整備等を行い飲食店の開

業を目指す方への補助金である。当初予算で1件分は予算化していたが、2件目のため追加補正とし、補助率1/2で上限150万円である。

犯罪被害者等見舞金

小松正弘議員 内容と想定件数は。

町民課長 遺族への見舞金一件30万円、傷害を負った犯罪被害者への見舞金一件10万円。

保育所人件費

五十嵐久芳議員 保育所費の人員費減額による支障はないか。

教育課長 保育所から教育課子育て支援センターに1名を人事異動したことによるもの。保育士不足はない。

高齢者世帯除雪委託料

佐藤正議員 何名程度の予定か。

福祉課長 110世帯の予定である。

有害鳥獣対策事業

佐藤正議員 増額の具体的な内容は。

農林課長 予算に対して、罾の設置撤去や処理のかかり増しがあつたための補正である。

農業経営高度化支援事業補助金

小松健弥議員 補助金の使途は。

農林課長 圃場整備の地元負担金の負担割合は7・5%だが、農地の集積率に応じて国から補助金が交付されるもので、実質地元負担分の軽減につながる。

農地集積協力金

菅原道雄議員 どれ位が集積されたのか。また、農業法人の構成は。

農林課長 大向・上野地区の圃場整備実施地区のうち上野・滝ノ沢、

中ノ瀬の3地区で集積される合計は1915・2アールで、集積率に応じて交付される。交付額は10アール当たり34,000円。また、経営転換協力金は、農業をリタイアした9戸に交付予定。なお、法人設立の予定はなく、組合を組織し交付金を受給、農機具購入などを計画している。組織に参加する受け手農家は3名。

オリンピック木材活用事業計画変更

高橋秀則議員 減額理由と活用方法は。

農林課長 当初報償費で予算計上していたが役務費に変更したもの。オリンピック木材を活用したベンチを10基製作しており、1基は役場庁舎前のバス停に設置済み。他は、教育施設や公共施設への設置を行っており、オ

リンピックレガシー材として活用していただきたい。

秋山スキー大会

菅原道雄議員 昨年より競技内容が大幅に変更されたようだが、今年の大会計画は。

教育課長 昨年より、スプリント形式で、800メートルの距離を基本とした大会となった。今年度も同様の開催を計画している。

秋山スキー大会使用材料及び賃借料

小松正弘議員 増額分の使途は。

教育課長 今まで本部として使用していた中学校校舎1階の図書室は、今年度から一年生の普通教室として使用されているため、大会本部としてプレハブを賃借し、設置する。

（その他の議案）
（※議案名は簡略表記しています）

- ◆議会議員の議員報酬等に関する条例改正（人勸に伴う改正）
- ◆一般職の職員の給与に関する条例改正（人勸に伴う改正）
- ◆固定資産評価審査委員の選任同意
- ◆印鑑登録・証明に関する条例の改正
- ◆特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営基準の条例並びに家庭的保育事業等の設備運営基準の条例の改正
- ◆介護保険特別会計補正予算
- ◆水道事業会計補正予算
- ◆政策提言書の提出について

次頁から

町政を問う

「一般質問」とは

行政全般にわたり、町当局に対して事務の執行状況や将来における政策方針について、議員個人が問いただすものです。

（●印は要約して掲載しています）

1. 平野 勝澄 議員

●町立病院に眼科は開設できないか

2. 小松 正弘 議員

●少子化に伴う伝承文化保存継承への対応は

3. 佐藤 正 議員

●今のままで良いのか鳥獣対策

4. 小松 健弥 議員

●持続可能な農林業を目指した今後の施策は

5. 高橋 秀則 議員

●中央公民館新築は慎重に計画を

町立病院に眼科は開設できないか



平野 勝澄 議員

町 長
□人員確保の面などから現状困難である

議員 町立病院では、内科、整形外科が毎日、耳鼻科が週2回、外来診療を行っている。新庄市を中心とした最上地区全体として開業医は減少傾向にあり、人口減少という面はあるにせよ、自治体病院の果たすべき役割は大きくなっている。町民の中には、眼科を開設してほしいという要望もある。新庄市内の眼科も減少し、通院の足の間でも不自由な高齢者の方にとっては切実だ。週に1回でも、眼科医師を招聘し、診療を行うことはできないか。

町長 新しい科を開設するためには、人員確保と施設及び設備面の課題がある。人員については、眼科を開設している町立最上病院に状況を確認すると、山形大学医学部より週1

回眼科医師の派遣を受けているが、回数を増やすことについては長年実現していないとのことであり、また県立新庄病院でも眼科医師1名体制で診療しているが、新たな医師確保は難しい状況にあるとのことだった。看護師については、検査業務と医師の補助業務で1回の診療に当たり3名程度の人員が必要になる。施設・設備面でも、機器購入費や保守、減価償却などの費用も発生する。現在、町立病院では、内科と整形外科の医師の確保が最優先課題であり、看護師についても人員確保に苦勞しており、配置などに工夫をしながら運営している状況であることを踏まえると、新しい診療科の開設、特に眼科医は医師全体の

約4%であり、現実として困難だ。

今後も、県立新庄病院をはじめとする病院間の役割分担と連携強化を図りながら、地域医療の充実に努めていく。

その他の質問
●検診の日程調整で受診率の向上を
町長 別の日程や場所で受診できることを周知しながら対応を継続する。





小松 正弘 議員

■少子化に伴う伝承文化保存継承への対応は

町長

□少人数でも自発的な活動を継続して支援する

議員 次の3点について伺う。①今後の伝承活動の在り方。②3つの小学校や中学校との連携。③保存活動への支援。

教育長 ①継承活動を行っている団体が集い、子どもたちの発表の場を設けることにより、団体のさらなる継承・育成活動を推進する。子どもと大人の関りを深め、子どもたちの社会力の向上を図ることを目的に開催しているふるさと子ども伝承祭は今年で21回を数えた。

これらの取り組みは、郷土愛の醸成や小学校統合後も児童と地域をつなぐ大切なものであると感じている。少子化は避けられない状況にあるが、町では可能な限りこの取り組みを継続していく。

②それぞれの継承活動は、各地域での活動が主であり、小学校でのクラブ活動はあさひ小学校の童唄と昔語り、真室川小のふるさとクラブのみである。学校との連携よりは、中学生が各地域の活動に参

加する状況が望ましい。実際に、番楽や囃子は地元の祭礼であることから、中学生や高校生も活動に参加しているのが現状。中学生になると部活や学習時間の確保という課題が生じてくるため、活動のたびに調整が必要となっていると聞いている。

文科大学特任教授菊池和博先生より、各団体の取り組みや継承活動に助言をいただきながら、それぞれが自主的に活動できるよう支援していく。又、子ども伝承祭等を写真や映像に記録し、各団体に配布しており、加えて活動に必要な用具の更新や活動財源確保の点については、宝くじ助成や民間財団の助成などが活用できるよう募集案内があったときは周知徹底を図っている。

その他の質問

●歴史民俗資料館リニューアルの計画は

町長 現状の床面積を上回る資料館機能や収蔵機能を併設するには費用の面から検討が必要である。

●東町宅地分譲地の販売状況は

町長 引き続き残り5区画の早期売却に取り組む。



安楽城の童唄

■今のままで良いのか鳥獣対策

町長

□県や県警との連携強化を図り被害軽減を図っていく



佐藤 正 議員

議員 熊の出没状況や地域の実情に応じた出沒対応を強化すべき。農産物被害については農林課、人身被害については危機管理担当の総務課との、連携した対応が必要である。町長の考えは。

町長 農林課で収集した情報は総務課と共有し、状況に応じて教育課などの関係する課に情報提供を行っている。鳥獣被害対策実施隊は猟友会員7名と一般公募隊員4名の体制で編成、即時対応は難しいが、県や県警との連携の強化を図り、来年度に管内市町村が対策を検討するとしており今後も人身被害の撲滅と農作物被害の軽減を図る。

その他の質問

●米の高温障害対策について

議員 産業福祉常任委員会でも猛暑による稲作と野菜栽培の被害調査を実施した。未整備地区で水利状況の悪い所の被害が多かったと認識している。水利状況の悪さから、米収量の減収と一等米比率の下落は農家の収入に大きく影響するので、今後の米づくりの酷暑対策を伺う。

町長 天候に合わせた水利の調整が重要であり、こうした対応が難しい箇所については、個々具体的に相談をいただきたい。地球温暖化は今後も続くと考え、県でも作付けの優良事例をピックアップして高温対策マニュアルの作成計画もあり、県の



ワナで捕獲された熊

指導に基づきJAと連携しながら農家に周知を図っていく。



小松 健弥 議員

■持続可能な農林業を目指した今後の施策は

町長

□国県の動向を注視し農林業活性化施策を推進する

議員 本町では農林業が基幹産業であり、なんとでも持続し、多くの町民皆さんの生業として、町の力の源として発展させて行かなければならないと考える。現状の課題は、少子高齢化による担い手不足が挙げられるが、町としての今後の施策について2点伺う。

町長 ①農業については、国の次世代人材育成事業などによる支援で担い手を育成しており、町の支援が難しい専門的な分野については県やJAなどの関係機関の協力を得ながら対応している。また町の重要事業として町内8か所の圃場整備にも取り組んでいる。整備された農地の汎用性が増し、高収益作物を取

り入れた多角的な農業経営が可能となる。林業については、元気な林業創生事業などによる交付を行っており、今後も新たな森林管理制度の下、森林環境譲与税や森林環境税を財源とした補助などを行う。今後も国や県の動向を注視し、他の市町村の取り組み状況などを参考にし、持続可能な農林業を推進させるための施策を行っていく。

大学まで距離があるため学生の町内への居住は想定していないが、地域のイベントを通して交流を図るとともに本町の実習受け入れ先と連携をとりながら、就職や起業につながる取り組みを進めていく。

を尊重し、地元住民の皆さんや関係団体の皆さんのご理解とご協力を

のもと、今後も適切な管理保全がなされるよう努めていく。

②開学予定の東北農林専門職大学との産学官

連携や学生へのサポート、卒業後の人材確保はどのように考えているか。

①農業については、国の次世代人材育成事業などによる支援で担い手を育成しており、町の支援が難しい専門的な分野については県やJAなどの関係機関の協力を得ながら対応している。また町の重要事業として町内8か所の圃場整備にも取り組んでいる。整備された農地の汎用性が増し、高収益作物を取

り入れた多角的な農業経営が可能となる。林業については、元気な林業創生事業などによる交付を行っており、今後も新たな森林管理制度の下、森林環境譲与税や森林環境税を財源とした補助などを行う。今後も国や県の動向を注視し、他の市町村の取り組み状況などを参考にし、持続可能な農林業を推進させるための施策を行っていく。

を尊重し、地元住民の皆さんや関係団体の皆さんのご理解とご協力を

のもと、今後も適切な管理保全がなされるよう努めていく。

②開学予定の東北農林専門職大学との産学官

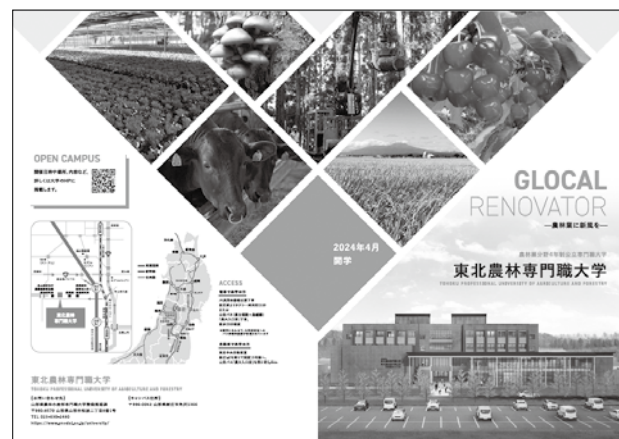
連携や学生へのサポート、卒業後の人材確保はどのように考えているか。

①農業については、国の次世代人材育成事業などによる支援で担い手を育成しており、町の支援が難しい専門的な分野については県やJAなどの関係機関の協力を得ながら対応している。また町の重要事業として町内8か所の圃場整備にも取り組んでいる。整備された農地の汎用性が増し、高収益作物を取

り入れた多角的な農業経営が可能となる。林業については、元気な林業創生事業などによる交付を行っており、今後も新たな森林管理制度の下、森林環境譲与税や森林環境税を財源とした補助などを行う。今後も国や県の動向を注視し、他の市町村の取り組み状況などを参考にし、持続可能な農林業を推進させるための施策を行っていく。

を尊重し、地元住民の皆さんや関係団体の皆さんのご理解とご協力を

のもと、今後も適切な管理保全がなされるよう努めていく。



東北農林専門職大学パンフレット表紙

その他の質問

●本町歴史遺産の保全と継承を

教育長 町としては、「文化財保護法」の規定により所有者の所有権及びその他の財産権

春に国庫補助の概算要望、秋に本要望を行い、補助採択となったのちに事業着手する予定である。

その他の質問

●高額教材の支援について

教育長 スキーについては、リサイクル活動を提案していく。

■中央公民館新築は慎重に計画を

町長

□身の丈に見合う施設を検討していく



高橋 秀則 議員

議員 中央公民館の新築は、役場庁舎新築に次ぐ大型事業となる。場所、財源、施設の規模、機能などについて慎重に取り組むべきと考えるが、町長はどのような構想を持っているのか伺う。

方からもご意見を聞く機会を設け、財源確保についても精査をしながら、関係各課の連携の下、事業を進めていく。この改築は、町中心部、駅前地区の賑わいづくりの一環となり、社会資本整備総合交付金の都市構造再編集集中支援事業を活用し、駅前地区全体の公共施設の再編・機能強化を目指すものとなるため、中央公民館はこれまでの社会教育活動を行う公民館の位置づけに加え、町民が交流する機能等を持つ必要がある。今後の見通しについては、今年度に基本構想、令和6年度に基本計画を策定し、令和7年度から事業化を見込んでいる。財源となる国庫補助事業の採択に向けて、これら構想、計画を用いて、来年度

町長 施設機能の向上と個別施設計画に基づく長寿命化を合わせて大規模改修を検討してきたが、施設そのものが築50年の古い建物であることに加え、3階大ホールが特定天井という構造であることやアスベストの使用により改修費用が多額となったことから、改築に向けた検討を行う判断をしたところである。今後の進め方については、公募の委員を含めた検討委員会での検討に加え、パブリックコメントなどで町民の

方からもご意見を聞く機会を設け、財源確保についても精査をしながら、関係各課の連携の下、事業を進めていく。この改築は、町中心部、駅前地区の賑わいづくりの一環となり、社会資本整備総合交付金の都市構造再編集集中支援事業を活用し、駅前地区全体の公共施設の再編・機能強化を目指すものとなるため、中央公民館はこれまでの社会教育活動を行う公民館の位置づけに加え、町民が交流する機能等を持つ必要がある。今後の見通しについては、今年度に基本構想、令和6年度に基本計画を策定し、令和7年度から事業化を見込んでいる。財源となる国庫補助事業の採択に向けて、これら構想、計画を用いて、来年度



中央公民館

11月2日から8日にかけて、町内8会場において議会報告会を開催しました。参加していただいた皆さまから、議会と町に対する貴重なご意見や様々なご要望をいただきました。今後の議会活動へと反映させていただきます。ありがとうございました。

全てのご意見を掲載したいところですが、紙面の関係上、抜粋・要約してご紹介いたします。「答(町)」は、後日町から回答のあったものです。」

開かれた議会に向けて

— 8 会場で議会報告会 —

- 11月2日(木)
 - ・川ノ内公民館
 - ・及位地区農村環境改善センター
- 11月6日(月)
 - ・釜淵地区多目的集会施設
 - ・平岡公民館
- 11月7日(火)
 - ・ふれあいセンター安楽城
 - ・差首鍋地区生涯学習センターまざれや
- 11月8日(水)
 - ・中央公民館
 - ・東町2公民館

か心配だ。

答 地方交付税は、市町村間の財源の不均衡を調整し、どの地域の住民にも一定の行政サービスを提供できるよう、国が財源を保証するものです。市町村が一定水準の行政を行う費用が、標準的に見込まれる税収を超える場合、その不足分が交付される仕組みになっています。

地方交付税

問 人口ビジョンによると、将来4千人台にまで減少の見込みになっているが、その時に交付税も減少し、町として成り立っていくの

国・県道改良工事
問 県道砂子沢小又釜淵線(三滝・小又間)の改修工事は今年で終了したのか。

答 完成見込みは令和5年12月末の予定と聞いています。

問 主要地方道真室川鮭川線(釜淵・八敷代間)の改修工事の完成見込みは。また、釜淵から大滝へ向かい郵便局手前が狭小になっていて大型車とすれ違うのが困難な箇所がある。改良の見込みは。工事

中の箇所につながる部分も狭く危険だと思われるので、対応してもらいたい。

答 完成見込みは令和7年度中の予定と聞いています。国や県に対する要望活動は、毎年行っており、これまで安久土、川ノ内が完成して現在の箇所を施工している状況です。主要地方道真室川鮭川線の改修につきましては、及位地区に予定されているICの整備と併せて、高速道路へのアクセス道路としても何とかしたいと思っています。ですので、引き続き要望してまいります。

問 国道344号線の青沢トンネルから集落までの部分は道路状況がよくないため、早期の整備を要望していたきたい。また、庄内方面から真室川町に入ったという看板がない。町のアピールのためにも看板等があればよいのではないか。

答 関係機関への要望活動の度に、早期整備についてお願いしています。酒田港を起点とした当町への流通・観光誘客の面でも重要路線と認識していますので、継続して要望していきます。また、看板については令和2年度に更新し、これまで通り高坂ダム管理事務所付近に設置されています。

流雪溝の管理

問 安久土地区で利用している流雪溝の、水源となるポンプ小屋ま



議会報告会の様子

での間(平安橋付近)で、秋になると落ち葉が大量に詰まり除去作業が大変なので、水路に網を張るなど落ち葉対策をしてもらえないか。

答(町) 当該水路は農業水利としても利用されていることから、水利組合及び地区と相談しながら対応を検討していきます。網などの軽微な対応であれば多面的機能支払交付金の活用が可能です。

子育て応援住宅

問 子育て応援住宅に入っている世帯が、子どもが高校卒業までに出なければならぬ。定住につなげるためにも何とかできないか。

答 以前は、中学校卒業までを条件にしていましたが、高校卒業まで期限が延長されています。住宅分譲地に絡めて、子育て応援住宅を出た後の住宅建築につなげられないかと思っています。議会としても動向を注視していきます。

除雪オペレーター確保

問 降雪期を迎えるにあたり、ここ数年除雪オペレーターが不足しているという。もっと待遇を改善する必要があるのではないか。

答 なり手不足対策の観点から、様々な職種

についての処遇改善を要請していきたいと考えています。

空き家対策

問 危険空き家を解体する際に町で補助しているが、所有者と連絡が取れない、または解体経費の負担が困難なため、多くの危険空き家が残っている。行政による代執行など他の先行事例を参考に、町が積極的に関わっていないと解消しないのではないか。

答 町でも危険老朽空き家の点検や所有者への連絡・要請を強化しており、年々解体に係る補助申請が増加しています。危険老朽空き家であっても個人の財産であるため、法律上町の関与にも制限があります。

なお、区長さんを通じて地区内の現状を担当課に伝えていただいた

いと思っています。

公共交通の充実

問 路線バスの乗客が少ないようだが費用対効果の面ではどう考えるか。もっと乗客を乗せて運行できるような方法を検討できないのか。

答 みなさんの移動手段としての町営バス運行であり、費用対効果面だけで判断すべきではないと考えます。運行時間帯については、民間運営から町に移行した際に引継ぎされた面もあり、要望に応じて現在の時間帯になっ

ています。バスとは別にデマンドタクシーも運行していますので、都合に合わせてご利用をお願いします。
問 免許証を自主返納した方が、返納後も安心して生活できるような交通システムの検討をしてもらいたい。

答 自主返納した方に、バス乗車券、タクシー券を配布しご利用いただいています。より良い方法を模索してまいります。

少子化

問 町内の出生数が年間20人程度になっている。今後の幼児施設や小学校のあり方について何か議論されているか。次期子ども子育て支援事業計画も策定されると思うので、議会として、しっかり考えを持っていてもらいたい。

答 議会として、子どもたちの将来を考え、これから議論していかなければと思っています。町の考えは、町民のまちづくり、心のよりどころとなっていることから、統廃合は児童数だけで判断すべきではないが、地域、保護者の強い要望があれば

ば真摯に受け止め検討していくとしています。

公共施設のトイレ修繕

問 釜淵地区多目的集会施設のトイレを洋式に改修してもらったが、3階のトイレが健常者でも使いにくい狭いスペースとなっている。早急に改修してもらいたい。

答 担当課に伝え要請してまいります。

問 春先に、総合体育館トイレ修繕の話があったが、どうなっているのか。町外からの利用者も多いので、早く修繕してほしい。

答(町) 体育館を開放しながらの施工であるため、利用状況を考慮した工期設定としています。外構の排水管の布設替え工事は、10月中旬に完了していますが、屋内の詰まり解消を図るトイレ配管の修繕は、全面的に使用を制限す

る必要があるため、各種大会がある時期を避け、1月上旬に着手する予定としています。工期は、令和5年8月10日〜令和6年2月5日となっています。

スクールバスの運行

問 今年のように猛暑日が続くと、下校時でもかなり暑い。特に低学年の一人歩きなどは危険なこともあると思う。自宅が2km以内でも、熱中症や熱射病の可能性はあるので、なるべくバス対応にした方がよいのではないか。

答(町) 熱中症が心配される猛暑日等の下校に関しては、学校が児童の体調と児童自身で下校できるかを確認し、難しい場合は保護者の送迎を依頼することとしています。切迫した危険が続く場合など状況に応じてバス対応を検討しています。

議会のうごき

令和5年10月～令和6年1月

10月26日(木) 最上地区広域連合議会定例会

29日(日) 町表彰式・町民各賞受賞を祝う会

11月2日(木)～8日(水) 町議会報告会

12日(日) 町婦人芸能祭

13日(月) 最上県勢懇話会

20日(月) 県・市町村長・議会議長会議

24日(金) 真中生ふるさと学習発表会、
「最上を拓く高規格道路」建設促進大会

25日(土) 最上地域ふるさと連合会総会

26日(日) ふるさと子ども伝承祭

28日(火) 町議会運営委員会、同全員協議会

29日(水) 町村議会議長全国大会

30日(木) 町村議会議長行財政セミナー

12月6日(水)～8日(金) 町議会第4回定例会

20日(水) 最上広域市町村圏事務組合議会運営委員会、
同全員協議会

21日(木) 最上地方町村議会議長会臨時総会、
自治振興研修会

22日(金) 最上地区広域連合議会運営委員会、
同全員協議会

26日(火) 最上広域市町村圏事務組合議会定例会、
市町村長・議会議長意見交換会

27日(水) 最上地区広域連合議会定例会

1月9日(火) 県町村議会議長会正副会長・理事会合同会議

10日(水) もがみ地域経済3団体共催事業新年賀詞交歓会

16日(火) 町経営者懇談会新年祝賀会

○議会広報常任委員会の開催 (12/21、12/27、1/11、1/17)

請願

●健康保険証を廃止せず存続を求める意見書
提出を求める請願書

【提出者】 山形県社会保険推進協議会

会長 高木

【紹介議員】

小松

正弘

【結果】 継続審査

陳情

●建設振興策に関する要望書

【提出者】 (一般社団法人) 山形県建設業協会

会長 太田

政往

※議員へ配布のみ

※議員へ配布のみ

●辺野古新基地建設の断念と日米地位協定の
改定、及び安全保障による米軍基地が必要
であるならば全国で平等に負担するよう求
める意見書の提出に関する陳情

【提出者】 沖縄に応答する会@山形

代表 漆山ひとみ

※議員へ配布のみ

町長へ提言書提出

今般、議会では、当
町が「将来にわたって
活力あるまちづくり」
を行うにあたり、直面
している喫緊の課題解
決に向けた調査研究を
行い、その結果を政策
提言書として町長へ提
言しました。

提言の項目は次のと
おりです。

●「やりがいをもって安
心して働けるまち」
について

○産業振興

・有害獣対策について

●「健やかで安心して暮
らせるまち」について

○福祉の充実

・高齢者支援について

○子育て支援の充実

・子育て支援の拡充に
ついて

●「暮らしやすさを実感
できるまち」について

○交通ネットワークの
整備



・国・県道の早期整備
について

○克雪・利雪の推進
管理について

○自然環境の保全

・危険老朽空き家対策
について

●「健全で自立したまち」
について

○交流の促進

・効果的な交流事業の
促進について

○次代を担う人材の確保

・議会議員のなり手確
保について

新たな文化拠点整備に向けて

～中央公民館建設検討委員会設置～

10月
臨時会

会期：10月23日

10月臨時会は、10月23日の1日間の会期で
開かれ、町長から提出された一般会計補正予
算1議案を慎重に審議し、原案のとおり可決
されました。

補正予算

◆一般会計

中学校可搬式大型冷風機購入費

平野勝澄議員 小学校
への導入についてはど
う考えているか。

教育課長 教育事務所
を通し、小学校につい
ても県に補助を要望し
ている。

中央公民館建設検討委員会設置

平野勝澄議員 利用者
としては新築を歓迎し
たい一方で、物価高で
苦しい世情の中、庁舎
建設から間もない中で
お金をかけていいのか。
その意義と財源案は。
総務課長 駅周辺の活
性化を図る一環として、
中央公民館改築と、旧

設との関係や費用面な
どの課題を含めて今後
検討していくという状
態である。

五十嵐久芳議員 補助
金制度を活用し捻出し
ていくとのことだが、
捻出方法等は。

総務課長 国庫補助金
2分の1だが、機能が
向上するものでないと
対象にはならないため、
今後設計しながら把握
していく。残りの財源
において過疎債の活用
ができる。

菅原道雄議員 現状の
中央公民館に比べて、
規模的にはどういうも
のを想定されているの
か。周辺の建物につい
てもどのように考えて
いるのか。現状の公民
館を使えるような形で
建設していくのか。解
体してから建設するの
か。どのように想定し
ているのか。
総務課長 今後の機能

により、図書コーナー
にするのか、図書館に
するの、大ホールにし
ても規模をどのくら
いにするのか、また子
育て支援センターにお
いてもどのような形に
するのにより違って
くる。周辺の機能を、
どのようにしていくか
は白紙の状態である。
町民各層からご意見を
いただきながら、検討して
いく。

教育課長 各
層からご意見
をいただき、
中央公民館の
機能をどのよ
うにしてい
くのか、中央公
民館以外の機
能を持つ住民
の集いの場等、
まちなか図書
館構想を教育
委員会では考
えているので



真室川町中央公民館周辺

こういった形で取り入
れられるかを考えなが
ら、これから建て替え
に向けて検討していく。
基本的には、今の中
央公民館を利用して
いただきながら新しく建
設し、その後の取り壊
しを考えている。建設
する段階において見直
しもある。

町民の声



沓澤 瑞穂さん
(川ノ内中)

結婚を機に青森から来た私

最初は、友人もいない土地に来て淋しい想いもしたけれど、子供が生まれ、町の『わんぱく広場』に参加した事で、徐々に友人も増え、参加した企画の一つの紙芝居がきっかけで、幼稚園や学校で読み聞かせをするようになりました。

当初は、読み聞かせで自分の顔売れば、子供の友人と仲良くなり、その親とも仲良くなって、互いに情報交換が出来れば、いじめやトラブルを防げるのではと思ったのと、子供達の普段の様子を見られる事もあり、読み聞かせを引き受けていましたが、これからは関わる子供達に、短くても素敵な世界がギュッと詰まった絵本を一冊でも多く読み聞かせをして参りたいと思っています。

議会中継や、過去の本会議議事録は町ホームページでご覧いただけます。

URL

<https://www.town.mamurogawa.yamagata.jp/category/bunya/gikai/>



お問い合わせは

議会事務局まで
☎62-2220 (直通)

傍聴お待ちしております

● 次回の
定例会は

3月です



編集を終えて

明けましておめでとうございます。
輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

今年は元日に「能登半島地震」、二日には「日航機と海上保安庁航空機」の衝突事故と、まことに悲しいニュースが飛び込む年明けとなりました。亡くなられた皆様方のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災されました皆様には一日も早い復興をお祈りいたします。

さて、昨年は猛暑や物価高騰で皆さんの商品が値上げされ、家計への負担も大変大きな年でありました。今年の干支は「辰」です。景気と皆さんの暮らしがますます「昇り竜」となることを期待します。
(小松 正弘)

議会広報常任委員会

委員長	小松 健 弥
副委員長	舟 生 源 氏
委員	姉 崎 園 子
委員	小 松 正 弘
委員	平 野 勝 澄